

東日本 大震災

岩手・大槌町で

健康支援を継続

AMDA、施設開所

岡山市の国際医療NGO「AMDA」が、岩手県大



AMDA大槌・健康サポートセンター＝AMDA提供

槌町にAMDA大槌・健康

サポートセンターを開所し、健康支援にあたっている。鍼灸院の施術室と台所付きフリースペースを備え、地元の人が集う場として重宝されている。

センターは県立大槌病院から車で数分の所に建てた。約30平方メートルの一戸建てで、トレーラーに載せて移設できるという。

津波で住居を兼ねた鍼灸院を流された大槌町の佐々木賀奈子鍼灸師と、同じく家を流されて釜石市に移り住んでいる大久保彩乃さんが常勤している。

鍼灸院は、音楽やアロマでくつろぎやすくしており、施術中に寝てしまう利用者もいるという。

フリースペースでは、お茶を飲みながらくつろぐ「お茶っこ」の場や、集会所が無い仮設住宅の住民の集いの場として利用されている。

AMDAは昨年4月まで大槌町で緊急医療支援活動を行っており、その後の被災地の復興支援策としてセンターを企画、設置した。